【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【公開番号】特開2016-101707(P2016-101707A)
【公開日】平成28年6月2日(2016.6.2)
【年通号数】公開・登録公報2016-034
【出願番号】特願2014-241249(P2014-241249)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/36　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　7/02　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　67/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/36　１０３
Ｂ３２Ｂ　7/02　１０３
Ｃ０８Ｌ　67/02

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月4日(2017.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
結晶性のポリエステル樹脂Ａを主成分とする層（Ａ層）と、非晶性のポリエステル樹脂Ｂとを主成分とする層（Ｂ層）を２層以上積層した積層フィルムであって、ポリエステル樹脂Ａがジカルボン酸成分としてナフタレンジカルボン酸残基を９０モル％以上、ジオール成分としてエチレングリコール残基を９０モル％以上含む樹脂組成物であり、Ａ層中に構成成分として炭素数が４以上のジオール、ジカルボン酸、脂肪族ジオールのうち少なくとも１以上の残基を含む樹脂Ｃを含み、かつフィルムの内部ヘイズが３．０％以下であることを特徴とする積層フィルム。
【請求項２】
前記樹脂Ｃのガラス転移点が２０℃以下であることを特徴とする請求項１に記載の積層フィルム。
【請求項３】
前記Ａ層と前記Ｂ層を交互に５０層以上積層した構造を有していることを特徴とする請求項１又は２に記載の積層フィルム。
【請求項４】
前記樹脂ＣがＰＢＴおよび／またはＰＢＴとの共重合体であることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の積層フィルム。
【請求項５】
相対反射率が３０％以上となる反射帯域を少なくとも１つ有する請求項１～４のいずれかに記載の積層フィルム。
【請求項６】
９００～１２００ｎｍの波長範囲において相対反射率が３０％以上となる反射帯域を少なくとも１つ有する請求項１～５のいずれかに記載の積層フィルム。